

オイルレス エアコンプレッサ 静音タイプ 取扱説明書

RZ-S0724EFR AC100V電源



もくじ

安全上のご注意	1～3
各部のなまえとはたらき	5～6
ご使用前の準備	7～10
ご使用方法	11～12
安全装置・仕様について	13～14
作業の終了	15
お手入れ方法	16～18
お手入れ・保管	19
能力・仕様	20
故障かな?と思ったときに	21～22
保証書	23

- このたびはRETZLINK製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、十分ご理解いただいて正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名及び販売店、レシートの証明書」などの記入を確かめ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

●いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

※表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときに生じる危害や傷害の程度を次の表示区分で説明しています。

 危険	「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」です。
 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が障害を負う可能性及び物質・財産の損害が発生する内容」です。

※なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも安全に関する重大な内容を記載しているので、必ず守ってください。

※お守りいただく内容を下記の図記号で表しています。

 禁止	してはいけない内容です。
 実行	しなければならない内容です。

 危険	
 禁止	●揮発性可燃物・可燃性ガスの近くで使用しないでください。 ※引火または爆発や発火、火災のおそれがあります。
	●分解や改造はしないでください。 ※事故やけがのおそれがあります。
	●本機タンクにある装備品は絶対に個人で加工や改良、外さないでください。 ※事故やけがのおそれがあります。
	●雨水や水の掛かる場所、湿気の多い場所での使用はしないでください。 ※漏電や感電などで発火の原因になります。
	●本機を人体や動物の送気用に使用しないでください。 ※コンプレッサからの吐出空気は絶対に使用しないでください。
	●本機の上に物を載せたり、座ったりしないでください。 ※転倒し破損や変形したりして、けがのおそれがあります。
	●作業場所や作業環境に注意し、特に子供は近づけないでください。 ※事故や火傷の原因になります。
	●ゴミやホコリの多い場所には設置しないでください。 ※加熱事故や故障の原因になります。
 実行	●ご使用前に本機取扱説明書を必ずよく読んで、使い方を理解してから使用してください。 ※守らないと事故やけが、故障の原因になります。
	●本機は平らで堅い場所を選んで設置してください。 ※不安定な場所に設置すると本機が転倒、振動で移動して事故やけがのおそれがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 危険

❗ 実行

- 使用前に本製品及び使用機器のボルトやネジの緩みなどの点検を行ってください。
※故障や事故の原因になります。
- 使用電源は単相交流AC100Vです。20A以上の漏電ブレーカーが設置されている電源を単独で使用してください。適切にアースを地中に埋め込んでください。
(電気工事店に依頼する)
※アース線を適切に設置するには、電気工事士の資格が必要です。
- 本機を発電機でのご使用はお控えください。
※故障の原因になります。

⚠ 警告

⊘ 禁止

- 空気の圧縮以外には使用しないでください。
※空気以外のガスを吸入すると爆発、発火のおそれがあります。
- 本機のモーターファン（カバー内）に異物を入れたり、近づけないでください。
※内部ファン部に巻き込まれ、故障の原因になります。
- 本機作動中や停止直後のモーターや金属部に直接触れないでください。
※圧縮空気や作動などで高温・熱くなっているため、火傷の原因になります。
- 本機を空気充填状態のまま長時間直射日光や、高温になる場所に放置しないでください。
※タンク内圧力が更に増し、高圧になってタンクが破裂するおそれがあります。
- 本機アース線をガス管・水道管などに接続しないでください。
※引火や爆発のおそれがあります。
- 本機を風通しの悪い場所や狭い場所（隔離した箱、車内など）では使用しないでください。
※本機の異常発熱となって故障、事故の原因になります。

❗ 実行

- ご使用前には本機電源コード及び差し込みプラグに損傷がないか点検をしてください。
※事故や発火、発熱などのおそれがあります。
- 使用する電源差し込み口も異常がないか点検をしてください。
※傷んでいたり、欠け、ヒビ割れ、ゴミ、湿気などで漏電、感電、火災の原因になります。
- 本機を始動させるときは、スイッチが【OFF】になっていることを確認してから、差し込みプラグを電源コンセントに接続してください。
※事故やけがのおそれがあります。
- 漏電に注意してください。使用中は身体にアースされている物に接触させないでください。
- 本機作動中に異常音の発生、各安全措置誤作動、タンク内圧力の低下などの症状が見られたら直ちに使用を中止し、お買い求め販売店にご相談ください。
※直ちにスイッチをOFFに、電源プラグを抜いてタンク内空気をエアコックで抜いてください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 注意

🚫 禁止

- 本機によって圧縮された空気は湿気、大気中のホコリ等を一緒に吐出されるので、電子部品、人体等には使用しないでください。
- タンク内圧縮空気やドレンで水抜きをする場合は、吐出口に顔や手を近づけないでください。
※圧縮空気や内部水分排出で失明・耳などを傷めるおそれがあります。

❗ 実行

- 作業場所は十分に明るくきれいにしてください。
※暗くて視野が悪いと、事故やけがのおそれがあります。
- 本機を丁寧にお取り扱いください。
※転倒や落下でタンク等に亀裂が入るおそれがあります。
- 本機の風通しをよくする為に、塀や壁面より30～40cm位離せる場所を選んでください。
※作動すると本機は熱を発生する為、機械にやさしくなります。
- 作業は保護メガネを使用してください。空気吐出で粉塵が舞い上がったりするなど環境によっては防塵マスク・手袋・ヘルメット・安全靴・耳栓なども併用してください。
※守らないと目、のど、人体に傷害をうけることがあります。
- 使用後は作業状態にもよりますが、タンクの蓄圧を使い切ってから、ドレンコックを開いて、タンク内に溜まっているドレン水を抜いてください。最低でも月に1～3回程度は水抜きをおこなってください。P-15参照
※タンク内に長期にドレン水を溜めると、内部に錆を発生させ、空気と一緒に各部に故障になる原因を発生させますのでご注意ください。
※タンク内空気圧力全て吐出してから水抜きしないと、圧力による事故やけがのおそれがあります。
- エアホースを本機より外すときは、タンク内空気が全て吐出してから外してください。
※タンク内にエア圧力が残圧しているとカプラーが跳ね、けがや事故の原因になります。
- 環境保全のために、排出されたドレン（タンク内水分）の捨て場所を管理してください。
※サビ水のため、きちんと溜められるトレイに水を受けて捨てるようにしてください。
- 使用しない場合は、乾燥した場所、子供の手の届かない鍵のかかる場所に保管してください。長時間使用しない場合は、ドレンコックを全開に開き5分以上作動して保管してください。
※守らないと事故やけがの原因になります。また本機の寿命を縮める原因になります。
- 本機を作動して別途エア工具、道具使用の場合は都度使用機器の必要圧力を確認し、用途に応じて減圧弁（レギュレータ）で圧力を調整し、使用してください。
※使用機器、道具の規定以上の圧力を掛けるとツールの故障のおそれがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください。

注意

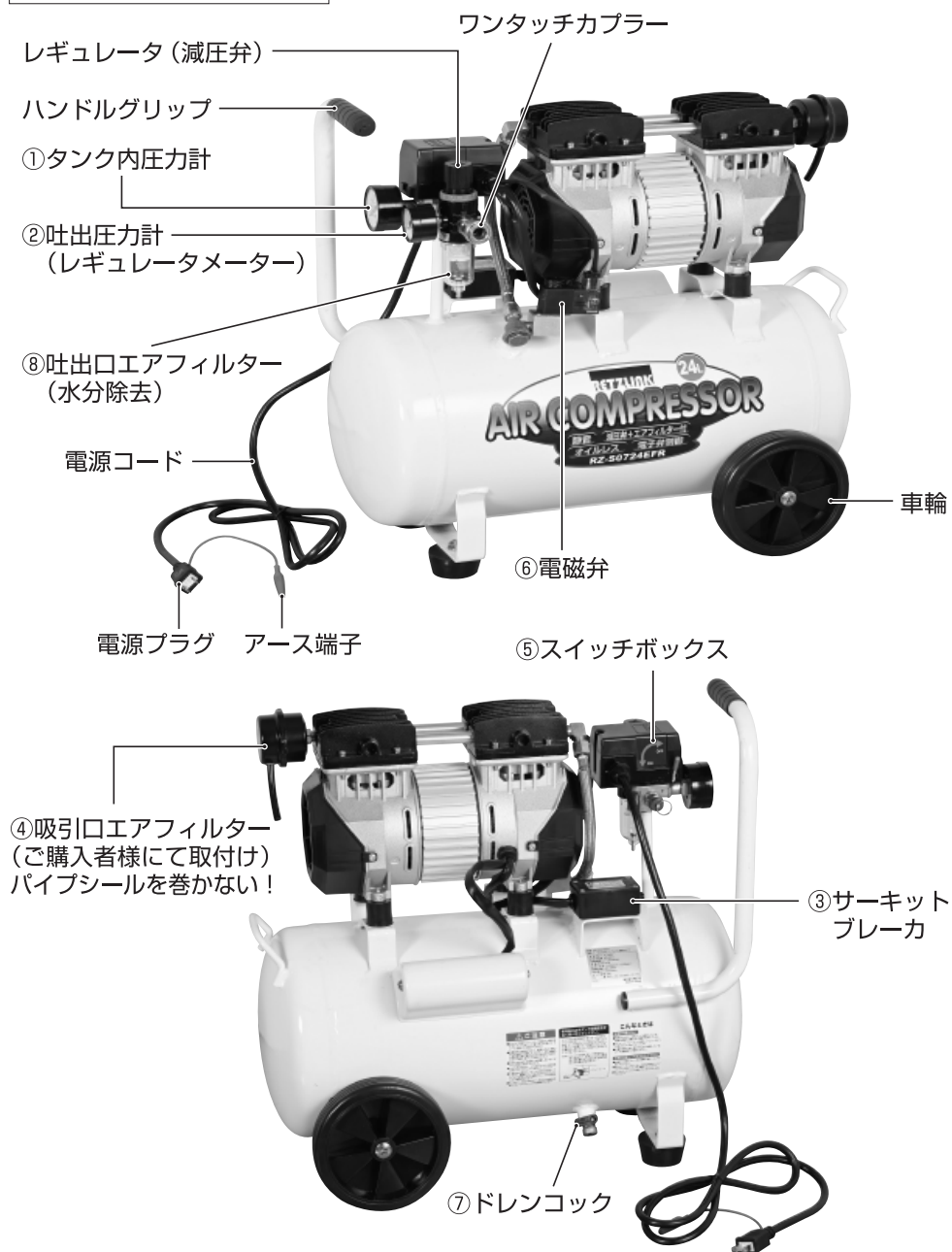
実行

- 本機はDIY用ですので、仕事での連続作業には適していません。その旨理解して頂いた上でご使用ください。
※エアリーク・故障・製品寿命等が早まる可能性があります。

各部のなまえとはたらき

◇主要名称 ※詳細は以降の各ページにて記載しています。

RZ-S0724EFR タイプ



各部のなまえとはたらき

付属品・別売品

商 品	商品名 付属品数	別売品 品番
	◎コンプレッサ本体 (写真は付属品組立済) 1 台	RZ-S0724EFR
	◎吸引口エアフィルター (付属品) ご購入者様にて取付け 1 個	RZ-S0724EFR 専用 (別売部品有)
	ワンタッチカップラー ソケットPF1/4 (取付済) 1 個	CS-4 1/4 (別売部品有)

※上記商品部品以外の本機取付け済部品が必要な場合は、販売店にご相談ください。または販売店に持ち込み、販売店より修理扱いで当社にて修理見積を致しますのでご安心ください。修理規定により修理させていただきます。

番号	部 品 名	機 能
①	タンク内圧力計	エアタンク内の空気圧力を示します。
②	吐出圧力計 (レギュレタメーター)	吐出する空気圧力を示すものです。 ※タンク内圧力以上は求められません。無理なダイヤル回しで破損します
③	サーキットブレーカ	本機作動に際し電力不足や連続作動でのモーター温度高温、モーター過負荷状態等でモーター保護装置が作動します。 詳細はP-15
④	吸引口エアフィルター	吸引される空気に混じったゴミやホコリをキャッチします。 ※時々内部エアエレメントを清掃してください。
⑤	スイッチボックス	本機の入力電源のON/OFFをします。
⑥	電磁弁	起動・再起動・停電・コンセント抜けなどに電磁弁の制御によりモーターにかかる負荷の軽減措置です。
⑦	ドレンコック	タンク内に溜まるドレン水を抜くときに使用します。
⑧	吐出口エアフィルター	吐出される空気圧に混じる水分を除去し溜めますが、溜まったら凸部を押して水分を抜いてください。

※⑧の吐出口エアフィルターに溜まった水分は、圧力により自動で排出されません。P-9・17 参照

ご使用前の準備

◎使用前に「安全上のご注意」を必ずお守りください。「ご使用前の準備」をよく読んでから準備を進めてください。

1 付属品・各部品の確認

○付属品・取付済部品をご確認ください。

- ・吸引口エアフィルター（1個）が付属しているか、破損・変形が無いか確認。
- ・車輪が取付済で、破損・変形が無いか確認。
- ・ハンドルが破損・変形が無いか確認。
- ・吐出口エアフィルターの破損が無いか確認。

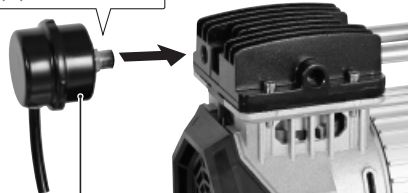


2 付属品 吸引口エアフィルターの取付け

- モータ上部の後ろにある取付け先に④吸引口エアフィルターを確実に奥までねじ込んでください。

※パイプシールは巻かないでください。

×パイプシール



④吸引口エアフィルター

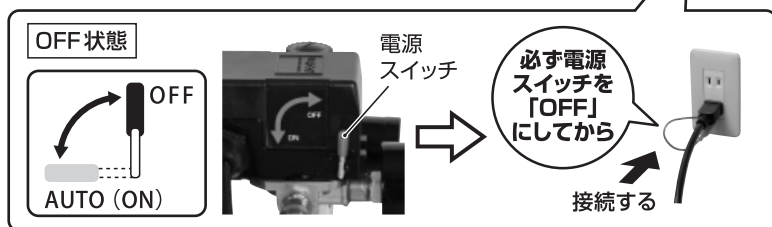


3 本体の点検

- 使用前にタンクのひびや亀裂またはサビなどが無いか確認をしてください。
※事故やけがの原因になります。
- 各部のボルトやナットが緩んでいないか点検をしてください。
- スイッチボックス下部やエアー吐出口などの変形、異常な傾きなどないか確認をしてください。
※輸送途中や不意の転倒などで亀裂、緩みが原因で事故やけがのおそれがあります。

4 電源スイッチの確認

- 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。「ON」状態なら「OFF」にしてから、差し込みプラグを電源コンセントに差し込んでください。
※必ず「OFF」にしないと不意に作動し、事故やけがのおそれがあります。



ご使用前の準備

5 設置する場所の確認をする

- 本機は平らで堅い地面、風通しのよい場所に設置してください。
- 不安定な場所や、湿気やごみの多いところは避けてください。
※本機が転倒したり、振動で動いたり、加熱して故障や事故になるおそれがあります。
- 本機は雨水などが当たらない場所に設置してください。

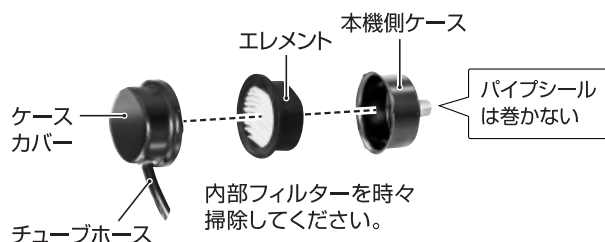
6 ドレンコックの確認をする

- タンク内に圧縮空気を溜めるため、⑦ドレンコックは閉じているか確認してください。



7 吸引口エアフィルターについて（標準装備）

- 吸引口エアフィルターを必ず取付けてください。
※パイプシールは巻かないでください。
- 本機作動時は、常に汚れた空気も吸い込まれていますので、内にあるエレメントにゴミが付着します。日頃の点検時に汚れを確認し、いつもきれいにしておいてください。



④吸引口エアフィルター



※吸引口エアフィルターを分解するには、本機側ケースのナットを市販レンチ薄型17mmで固定し、ケースカバー部を時計の逆回しで凹凸部あわせて取外します。
内部エレメントフィルターを清掃するチューブホース内に虫の巣などが詰まっている場合がありますので、一緒に清掃をおこなってください。

ご使用前の準備

8 吐出口エアフィルターについて（標準装備）

◎本機取付け済の吐出口エアフィルターは、空気の圧縮によって起こる水分を吐出する寸前で除去し、手動で排出する仕様です。

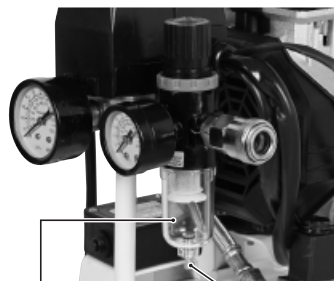
使用するエアツールを湿気によるサビや腐食によって故障から守る、ツールにやさしい機能です。

湿気の少ないエアーを送ることができる機能です。

※サビ水、ゴミ等が内部フィルターに付着し、機能に支障が現れるようであれば部品交換も可能ですので、販売店にご相談ください。

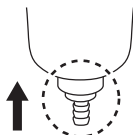
●吐出口エアフィルターは本機タンク内空気圧力からなる水分を直接吐出する間に除去するものなので、完全に水分を除去できるものではありません。よってタンク内に蓄積される水分は、別途タンクドレンコックにて必ず排除してください。

※精密機器や電子部品・人体に直接吹きかけないでください。故障やけがのおそれがあります。



⑧吐出口
エアフィルター（容器） 水分吐出
出口リブ

上に押すと水と一緒にエアーが出ます。



◎ご使用前の準備

●本機のタンクは鉄製ですので、ドレン水を長期に溜めると、タンクの内部が錆びて腐食し、タンク内より吐出口に向けて錆水が流れ、故障の原因になります。日頃の点検時にタンク内の蓄圧を使い切るか、タンク内の残圧を抜いてからドレンコックを開いて、ドレン水を抜いてください。

※タンク内が高圧のままドレンコックを開くと、低温火傷・事故やけがのおそれがあります。

●吸引口エアフィルターは確実に取付けてある事を確認してください。

※取付けていないと異常音がしたりモーター内部に異物が吸引され故障の原因になります。

※P-8吸引口エアーフィルターの内部エレメントの清掃も忘れないで、おこなってください。

●パイプシール等は巻かないでください。

●取付済部品や作業後の点検、日頃の点検後スイッチが「OFF」になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

※不意に作動しけがをするおそれがあります。



⑦ドレンコック

④吸引口エアフィルター



電源
スイッチ

●スイッチの「OFF」を確認してから、コンセントに接続してください。

○電源はAC100V単独で使用してください。

○アース端子を接続してください。

●やむを得ず延長コードを使用する場合は、長さは10m以内で、コード断面積2mm²以上を使用してください。



接続する

アース端子

ご使用前の準備

準備の再確認

- ①本機のスイッチが「OFF」になっていることを確認してください。
- ②本機の電源コードプラグをコンセントに差し込んでください。
- ③電源は一般家庭用AC100V単独でご使用ください。
- ④アース端子を接続してください。(専門業者に依頼)
- ⑤やむを得ず延長コードを使用する場合は、長さは10m以内で、コード断面積2.0mm²以上、電源コンセント15A以上、単独使用でご使用ください。(店舗にてご購入ください。)

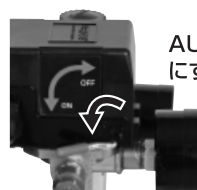
試運転

⚠ 平らで硬い安定した場所でおこなってください。

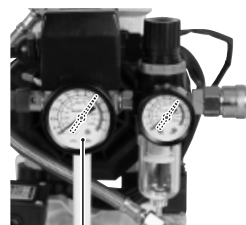
◎用意するもの=吐出用機器(エアダスターなど)+付属のワンタッチカブラーに接続できるプラグを用いていること。
(プラグ接続可能なもの)

- 1) 電源スイッチを「ON」に入れてください。
 1. モーターが作動し、タンク内部に圧縮空気が送られます。
※異常音や振動などが無いことを確認してください。
 2. タンク側の圧力メーターが約0.8MPa圧力になると、自動停止します。
- 2) 店舗販売品にある吐出できるエアダスター+プラグ付きを本機カブラーに差し込んで、接続してください。
 1. ダスターなどでエアを吐出したうえで、タンク内圧力が約0.6以下に減圧されると自動で再起動します。
初期作動時と同じタンク内圧力が約0.8MPaになると自動停止します。
 2. 本機が停止した状態で、スイッチレバーを「OFF」にしてください。
 3. 1の状態と同じく、タンク内圧力を市販品ダスター等でエアを吐出させるか、タンクのドレンコックを開いてエアを全て抜いてください。本機を初期状態にします。

●空気を抜くときは風圧、低温になりますので、顔や手を近づけないでください。事故やけがの原因になります。



AUTO (ON)
にする



①タンク内圧力計

⚠ 注意

タンクに蓄圧される空気圧力よりも、吐出使用される方が多いと、0.8MPa圧力に達しない場合は、本機は連続作動しますが、モーター温度が上昇し、モーター保護装置が作動し(サーキットブレーカ)で強制的に停止します。本機は長時間の連続作動使用は、できませんので、ご注意ください。エアツールは本機の再起動に余裕をもってご使用ください。

⚠ 警告

たとえ試運転でも本機を作動した場合は、空気の圧縮熱で金属部は高温になっていますので、絶対に直接本機金属部には触れないでください。

※火傷のおそれがあります。

ご使用方法

⚠ 警告

- 本機試運転の際、また通常作動直後は本機作動で空気圧縮熱での高温の為、金属熱が熱くなっておりますので、火傷のおそれがあります。絶対に素手で触れないでください。

1) 販売店のカプラープラグをご用意ください

- 販売店のホース付きカプラープラグを別途お買い求めください。
- 作業目的に合ったエアツールも販売店でお買い求めください。

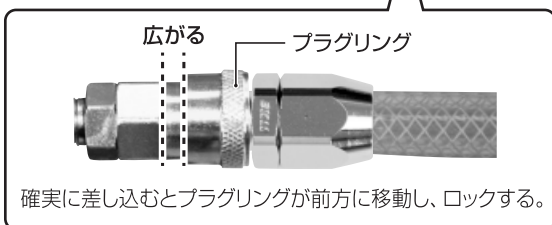
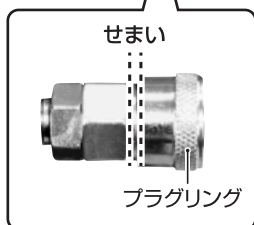
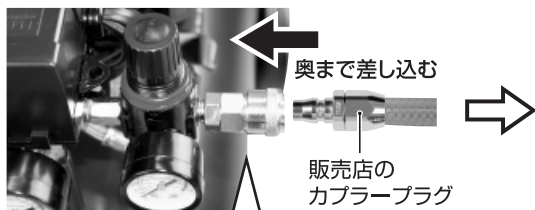


2) 販売店の互換性のあるカプラープラグを取り付ける

- ワンタッチカプラーソケットに販売店のエアホース付カプラープラグを差し込んでください。しっかりと奥まで差し込むとワンタッチカプラーのリング部が手前に押し出されるので、外れない事を確認してください。接続完了です。
※完全に外れないか引っ張って確認してください。
外れると事故やけがのおそれがあります。



本機取付済のワンタッチカプラーソケットにプラグを差し込む。

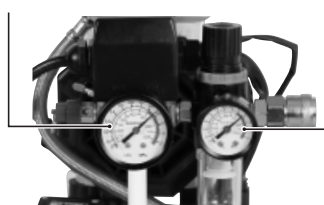


3) 圧力計のみかた

- 圧力計には2つの仕様が装備されています。
 1. タンク内空気圧力を示す機能-①
 2. 吐出する圧縮空気圧力を示す機能(レギュレータ調整によるもの) P-12 参照※現状のタンク内圧力範囲で、指定された使用圧力範囲内で使用するものです。-②

①タンク内圧力計

②吐出圧力計 (レギュレータメーター)



ご使用方法

⚠ 注意

- レギュレータは、タンク内に蓄圧された空気圧力以上は求められません。
※タンクの蓄圧力より吐出空気圧力を求め過ぎて、**レギュレータつまみを回し過ぎて、破損に至ることがあります**ので、タンク蓄圧計・吐出圧力計をよく見て調整してください。

4) レギュレータについて

用途：レギュレータ（減圧弁）は、タンクに溜められた空気圧を吐出するときに目的に合う空気圧に減圧調整するものです。

1. エアツールによって使用される空気圧が異なりますので、必ず使用されるツールに応じて指定された使用空気圧でご使用ください。
(0.8MPa以下)

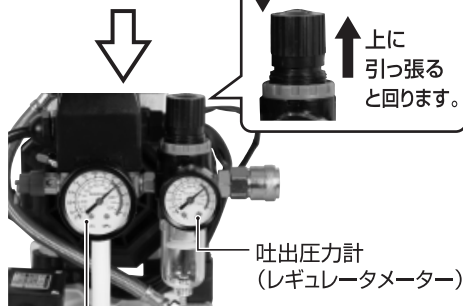
2. レギュレータのキャップダイヤル部をつまんで上に引っ張り、回してください。**時計回りでタンク内圧力に近づきますが、以上にはできません。**

⚠ 注意 限界を超えると破損に至ります。

3. 時計の逆回しで、タンク内圧力よりも低くできますが、2・3いずれも調整ダイヤルが軽く動く時は調整可能範囲ですが、重くなると限界を超えます。
※限界を超えると破損に至ります。

4. 調整が終了したら、キャップ部を下に押して、「カチッ」と音がしたら、調整キャップは固定されます。
※本機の振動などで、キャップが回る場合がありますので、必ずロックをしてください。

タンク内圧力を超える吐出圧は吐出できません。
※**タンク内圧力を超えるレギュレータ調整は破損の原因となります。**



タンク内圧力計

〈ダイヤル調整〉



使用手順の確認

- ① スイッチと電源 ➡ スイッチレバーの位置はOFFであること。
➡ 電源は電圧 AC100V で電流 20A 以上であること。
(延長コード使用の場合) ➡ 長さ 10m 以内でコード断面積 2.0mm² 以上であること。
 - ② 初期使用の場合確認する。 ➡ タンクのドレンコックが開いていないこと。
(使用後の場合) ➡ タンクにドレン水を長期に溜めないで、抜いてあること。
➡ 湿気の多い季節、設置環境の場合は、こまめにタンクドレン水を抜いてください。
 - ③ 本機上部の後ろ取付けの吸引フィルターが取付てあること。
- ◎ 上記 ①②③ を確認し、各仕様もよく確認された上で、安全に注意してご使用ください。

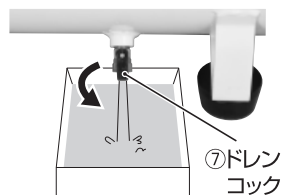
安全装置・仕様について

本機をより安全にご使用いただくために、使用環境にやさしい仕様を下記にご説明いたします。

1) 鉄製タンク

○本機のタンクは鉄製ですので、作業後タンク内ドレン水をこまめに抜かないと、錆水・腐食を防ぐことはできません。

※作業後こまめにドレン水を抜いてください。故障の原因になります。



2) オイルレス

○本機は面倒なオイル交換の必要のないオイルレス方式を採用しています。メンテナンスフリーでオイル交換の手間がかかりません。

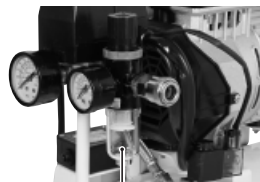


3) 静音タイプ

○モーター内部に異常加熱を未然に防ぐ温度センサーを装備しています。レシプロ方式のため、静音設計で約65dB（当社比）。

4) 吐出口エアフィルター装備

○吐出空気の湿気をより軽減（除去）する吐出口にエアフィルターを装備。圧縮空気をタンク内に溜めるときにどうしても湿気（水分）が発生し、吐出される空気内にサビ水も混入する。使用のエアツール内の機能を妨げ、サビ・腐食などによって短命化するので、それらを防ぐ為の装備です。



⑧吐出口エアフィルター

5) 電磁弁制御

○電磁弁の装備により、モーターの高寿命化を図っています。モーターの起動時や再起動時、停電や本機コンセント抜け時にも電磁弁の制御によってモーター内の圧力を抜き、再起動時にモーターに掛かる負荷を軽減し、高寿命を図る。



⑥電磁弁

6) 電気コードにアースコード付

○電源コードプラグには本機の故障や、漏電などの際に電流を他に逃がし、感電事故を防止するアース端子を接続してください。クリップ付き。

※コードのアースクリップを接続してください。アース端子のない場合、アース棒やアース板を地中に埋め込み接続する。

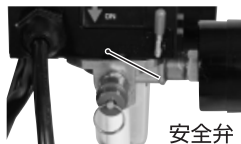
（工事は電気工事士に依頼）



7) 安全弁装備

○安全弁の装備でタンク内空気圧力が異常に高圧になった場合にのみ空気圧力を自動的に抜く安全装置です。

※個人での改造や取り外しは絶対にしないでください。



安全弁

安全装置・仕様について

8) サーキットブレーカ装備

○サーキットブレーカによって、モーターに過負荷電流が生じた場合などに、ボタンが飛び出し作動を止める装置を装備しています。
(電力不足・延長コード使用など) 再起動するには、一度本機メインスイッチをOFFにして、サーキットブレーカのリセットボタンを押してください。またリセットボタンを押しても飛び出る場合は3～5分経過後に、押されることを確認し再起動してください。
(モーター温度が高いので、冷ましてから押す) 押されたら本機メインスイッチをONにして作動させてください。

※何度も電力不足での使用により、サーキットブレーカ作動時モーター自体が焼付けを発生し使用できなくなりますので注意してください。



③サーキットブレーカ

作業の終了

終了の手順

1. 作業終了後は本機の電源スイッチを「OFF」にした後、電源コンセントからプラグを抜いてください。
2. 本機タンク内圧縮空気を全て使い切ってください。
※必ず使い切って残圧を抜いてください。
3. お使いのカプラープラグを抜く。(任意)
※吐出口のワンタッチカプラーソケットのプラグリングを内側に押して、カプラープラグを抜いてください。
※必ず残圧を使い切って、ドレン水を抜いてください。

●エアホース内に残圧の空気が残っていると、圧縮空気の力でカプラープラグが飛ばされたり(跳ねたり)してけがのおそれがありますので注意してください。

●ワンタッチカプラーソケットは空気圧をストップ状態になりますので、プラグを抜くとエアは吐出されません。

⚠ 注意

- タンク内の残圧を使い切っておいてください。
- タンクの材質は鉄ですので、ドレン水を長期に溜めると、内部が錆びて故障の原因になります。

4. 本機エアタンク内の水分を抜いてください。
エアタンク下部にあるドレンコックを下に動かして、ドレン(水)を抜いてください。

※抜いた水にゴミ混じりの水がでる場合がありますので、トレイなどを置くとよいです。

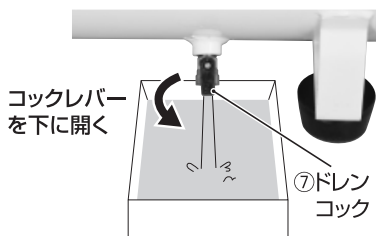
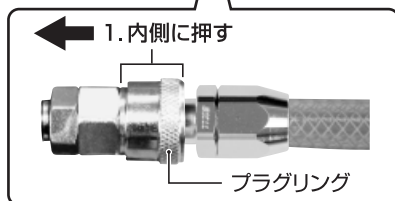
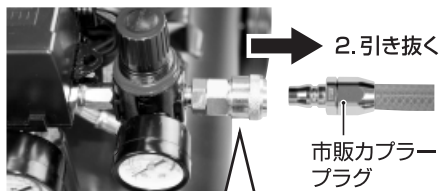
●タンクドレンコックは真下にはありませんのでドレンを開いても水は全て排出されません。
本機をドレンコック側に傾けてしっかり水抜きをしてください。

⚠ 警告

- ドレンコックでタンク内の水を抜くときは、タンク内空気圧力を全て使い切ってから行ってください。
※空気圧力が残っていると、残圧で事故やけがのおそれがあります。
- 使用後は毎回必ずドレンコックを開いて水を排出してください。
※本機は水抜きをしないと、エアタンク内に水が溜まり、吐出される空気圧と一緒にエアホース内を通り使用される各種ツール内部に運ばれ、故障やサビの原因になります。(一番多い故障原因)
- ドレンコックで水抜きする場合は、手や顔を近づけないでください。
※タンク内の圧縮空気排出で、失明や耳を傷めるおそれがあります。

⚠ 注意

- 作業後に吐出口のエアコックから圧縮空気を抜くときは、本機のスイッチをOFFにして、吐出口にカプラー付きホースが取付てある場合、カプラー付きホース使用のツール状態で、圧縮空気を吐出して抜いてください。また、取付けのワンタッチカプラー付きホースを取外してあとと取付けのワンタッチカプラーからは圧縮空気を抜けません。



お手入れ方法

- ◎本機の性能や安全を保守・維持するために、定期的に点検をおこなってください。
お手入れの際は必ず電源スイッチを「OFF」にし、電源から差し込みプラグを抜いてからおこなってください。

吸引口エアフィルターの点検

- 取付けの場合は、パイプシールは巻かないでください。

※故障の原因になります。

1) 吸引口エアフィルターの点検

○吸引口エアフィルターは作動時、常に空気が吸引されているので、ゴミ・ホコリなどが付着し、吸引空気が減少するため、本来の性能が発揮できません。汚れたら市販のエアーダスター等で内部のエアフィルターまで掃除してください。

2) 吸引口エアフィルターの本機側をレンチで固定し、外側のケースカバーを時計の逆回しで取外してください。

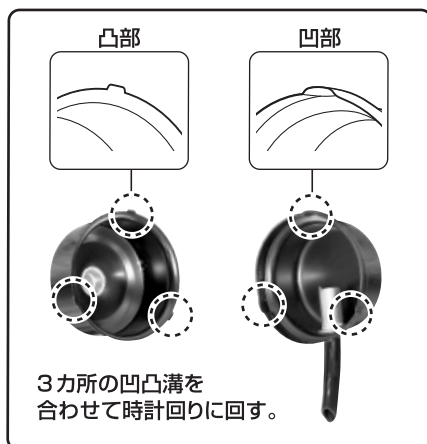
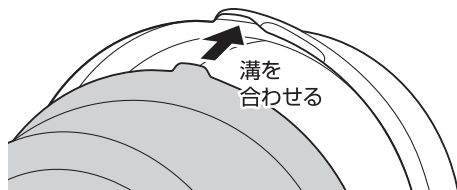
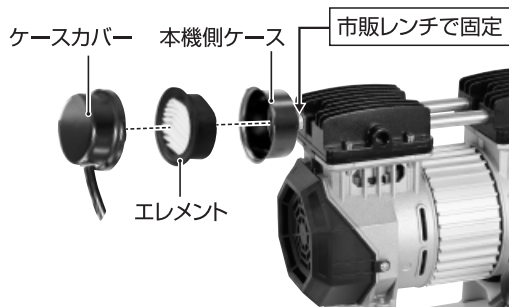
3) ケースキャップと本機側のケース中央に、エレメントがありますので汚れを吹き飛ばしてください。

※汚れが酷い場合は、部品としてご購入してください。(店舗へ)

4) 本機側ケースにエレメントをセットしてケースカバーを取付けてください。

※本機側ケースの凸部(3カ所)とケースカバーの凹部(3カ所)を合わせて差し込み、時計回りに回してください。

④吸引口エアフィルター



各種圧力計の点検

各種圧力計は不意に物をぶつけたり、落としてメーター表面が割れたり、欠けたりしたら、使用に問題がありますので、交換または修理依頼を販売店におこなってください。

※内部の湿気や劣化での故障もありますので注意してください。

お手入れ方法

吐出口エアフィルターの点検

内部のエLEMENTが酷い汚れになった時は、取外し分解して清掃をしてください。(※1)

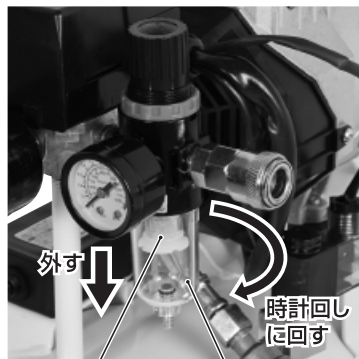
○本機ELEMENTの下部透明ケースを、ダイヤルキャップ真上から見て時計回りの方向に回して透明カップを取外してください。

※取外したカップの上部にゴムパッキンがあるのが正常ですが、ゴムパッキンがレギュレータ内部に張り付いている場合がありますので、ご注意ください。

○取付けの際は、ゴムパッキンが外れないように注意しながら、逆手順で回して、締め込んでください。

●水溜カップ内にドレン水が溜まったら、凸部水抜きを上を押すと溜まった水分を抜くことができます。吐出エアー湿気分除去できます。

※吐出空気圧があれば、手を離せば止まります。
(正常な状態)



ELEMENT(※1) ⑧吐出口エアフィルター透明ケース

透明ケース



水溜カップの水の抜き方



⚠ 注意

- 取付け・取外しの際はカップのネジ山を良く合わせて回してください。無理に回すとPCネジが破損してエアー漏れが発生します。
- 無理に回すと部品が破損します！
- ゴムパッキンを水溜カップの上部に乗せ、回しながら締め込む際、ゴムパッキンが外れないように注意して回してはめ込んでください。

お手入れ方法

レギュレータについて

レギュレータにより吐出圧力は調整できますが、勘違いで操作ミスをしてください。

レギュレータ部品が破損します。(有料修理対応)

レギュレータのキャップダイヤル部をつまんで上に引っ張り、回してください。時計回りでタンク内圧力に近づきますが、タンク内圧力を超える吐出はできません。

※限界を超えると破損に至ります。



⚠ 注意

- タンクの蓄圧以上の吐出圧はできません。
- 本機の最高圧後モーター停止を確認し、タンク圧力計を確認し、その圧力以内でレギュレータのダイヤル調整で吐出メーターを確認しながら吐出圧力の減圧調整をおこなう。
- レギュレータのキャップダイヤルは調整後必ずロックする。

お手入れ・保管

保証期間中は

○保証書の規定に従って、お買上げの販売店が修理を受けさせていただきますので、恐れ入りますが、製品の取扱説明書（必須）及び店舗ご購入時のレジ発行の保証書またはレシート等の店舗購入日付のあるものを添えてください。

※不備があるときは保証期間であっても保証できない場合がありますので、ご了承ください。

保証期間を過ぎている場合は

●修理見積の基本料は有料です。修理すれば使用できる製品については、見積もりし希望によって修理させていただきます。

※修理せずにキャンセルする場合は、見積中の基本料はご請求させていただきます。当社にて無料処分も可能ですが、有料になる場合もございます。

●修理検証の最中にキャンセル返却希望の場合は、基本料+返送運賃一部請求になります。

※修理検証中、修理途中の場合は、組立てをせずに返却する場合がありますので、ご了承ください。

修理料金の仕組み

●修理料金：基本料金は有料（商品によって異なります）見積書参照

※保証期間であっても、お客様の使用による問題である場合は有料となります。

○技術料：有料 ※ 診断・故障場所・修理・調整・修理後点検、その他作業に掛かる費用。

○部品代：有料 ※ 修理に使用した部品、及びその他の補助材料代です。

○運送代：有料 受付販売店までの送料一部負担お願い致します。（機種により多少異なります。）

返送代は別途請求致します。（見積書参照）※九州・四国・北海道は別途料金になります。

能力・仕様

◎本機は各種エアツールの動力源となる圧縮空気を供給するための空気圧縮機です。
市販されるエアツールを接続し様々な用途の使用をすることができます。

品番	RZ-S0724EFRタイプ
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	50Hz 580W、60Hz 660W
定格時間	20分
回転速度	1,400min-1/1,700min-1
最高使用圧力(約)	0.8MPa
再起動圧力(約)	0.6MPa
タンク容量(約)	24L
吐出量(約)	50Hz 90L/min、60Hz 110L/min
吐出口サイズ	R1/4 ワンタッチカブラーソケット付
騒音値(約)	65dB (フィルター有/チューブホース有)
質量(約)	22kg
サイズ(約)	長さ530×幅320×高さ530mm

- 商品改良のため、外観、仕様などを一部変更することがありますので、ご了承ください。
- 作業の際は、必ず使用するツールの必要圧力などを確認の上、用途に応じて使用してください。
- 圧縮空気には、湿気やホコリ等が混入し吐出されますので、電子部品や乾燥には使用しないでください。
- 用途以外には重大な損害や事故・けがの原因になりますので絶対に使用しないでください。
- 人、動物などに直接エア源を当てないでください。
※けがをすることがあります。
- 本機はDIY用に設計された機種ですので、連続の長時間作動には耐えられません。本機の作動・再起動が余裕をもってできるような休み休みできる作業にご使用ください。

故障かな？と思ったときに

	状 態	原 因	処 理
使用 前	●付属品不足。 ●部品の損傷。 ●取扱説明書不備。	●出荷時の入れ込みミス。 ●輸送途中による転倒・取扱状態による。	●販売店にお申し出ください。 エアフィルターなど。
使 用 時	●作動しない。 ●サーキットブレーカが飛び出ている。 ●サーキットブレーカを押しても直ぐにボタンが飛び出る。 ●圧力が上がらない。 ●タンクには圧力は溜まるが吐出されない。	●スイッチがOFFである。 ●タンク内圧力が既に0.5MPa以上0.8MPa以下にあるため作動しない設計です。 ●電力不足でモーターが作動せず、電力が熱に変わりモーター焼損防ぎ安全装置作動状態です。 ●延長コード10m以上使用し、電圧ドロップしている状態。 ●各部にエア漏れ、コックの締め忘れはありませんか。 ●レギュレータで吐出圧力を調整する。P-12 ●取付のワンタッチカプラーソケットはプラグを差し込まないとエアが止まります。	●スイッチをONにする。 ●タンク内圧力が0.5MPa以下に下がると電源が入りスイッチをONで作動します。作動しない場合は、販売店に修理依頼をお願い致します。 ●電源スイッチをOFFにする。モーター温度低下まで約3～5分後にサーキットブレーカを押して再度スイッチを入れる。 ●やむを得ず延長コードを使用する場合は、コード断面積2.0mm²で10m以内、電源は単独15A以上でご使用ください。 ●コック類を締める。 ●石鹸水をエア漏れ音に塗って確認し、販売店に修理依頼をしてください。 ●タンク内圧力以上の吐出はできません。下げる圧力調整するものです。 ●市販のカプラープラグ（互換性有）を差し込んでエアを吐出できます。
そ の 他	●エアの溜まりが遅くなった。 ●最高圧で停止後エア漏れ音がする。 ●電磁弁より高圧停止後にエアが漏れる。	●吸引口エアフィルターにゴミが付着している。 ●エア漏れ部分だけの問題では無いことがありますので、個人での分解はしない。 ●定圧で本機停止後に電磁部モーター間のホース内圧力を抜いて、次の作動時の負荷を掛けないようにする機能。	●吸引力が落ちているので、P-16参照し、清掃をおこなってください。 ●販売店にお持ちください。ご相談の上、修理依頼をおこなってください。 ●定圧で本機停止後に電磁弁よりエアがシューッと漏れる事は仕様の範囲で故障ではありません。 ●タンク圧力が0.8MPa以下でもエアが漏れる場合は修理依頼してください。

故障かな？と思ったときに

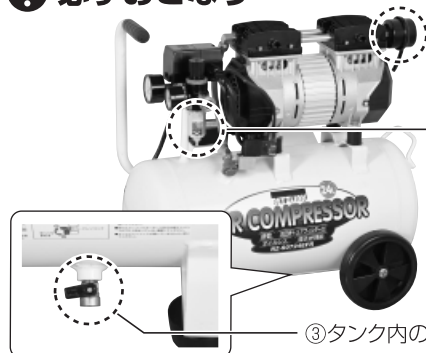
	状 態	原 因	処 理
そ 他	●吐出口水溜カップに 水が溜まる。	●環境によって、湿度・温度 差等によって圧縮された空 気内に混ざり水滴が溜まる。	●エアフィルターは吐出される空 気内から水分を抽出し使用する エアツールを保護するものです。 下の凸突起部を上押しすると水とエアーが出ます。
		●タンク内にドレン水が溜 まっている状況です。	●タンク内のエアーを全て使い 切ってからドレンコックを開いて、 ドレン水を抜いてください。本機 をドレンコック側に傾けてしっか り水を抜いてください。

※上記の症状や対処でも正常に作動しない場合は、お手数ですが販売店までご連絡ください。
直接当社または販売店に送付されても、処理、対応が出来ない場合がありますので、ご了承ください。

※本機の保管について

長期に使用しない場合は、きちんとタンクドレン水を抜いて、ゴミやホコリ、雨水等掛からないようにして保管してください。乾燥した場所、湿気の少ない場所、子供の手の届かない場所に保管し、必ず使用直後にタンク部のドレンコックを開いて、2～3分程度運転をして水抜きをしてください。

！ 必ずおこなう



①吸引口エアフィルター内のエレメントを取り出して清掃してください。(P-16参考)

②吐出口エアフィルター水溜カップ内にドレン水が溜まったら抜いてください。(P-17参考)
※カップ内に水が溜まっている場合は、すでにタンク内にもドレン水が溜まっているので必ず水を抜いてください。

③タンク内のドレン水は、こまめに抜いてください。(P-13参考)

ドレン水の抜き方

A)



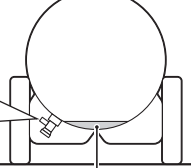
タンク内圧力空気を
全て使い切る。
(抜き切る)

B)



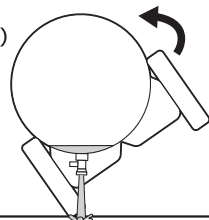
ドレンコック
を開く

【断面図】



底にドレン水が
残ります。

C)



本体を斜めにしてドレンコックを真
下にし、底に残ったドレン水を抜く。
※本体を倒さないように注意
してください。

オイルレス エアコンプレッサ 静音タイプ RZ-S0724EFR 保証書【保証期間/お買い上げ日より6ヶ月(半年)】

無料修理規定

- 1.本書はお買い上げ商品にのみ適用されますので、一切の工事費用などには適用外となります。
- 2.保証期間内でも次のような場合は有料となります。
 - 使用上の誤り、不当な改造・修理による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の移動・輸送・引越し・落下などによる故障及び損傷。
 - 火災・水害・地震・落雷・その他の天変地異・公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - 一般家庭用以外に（業務用の長時間使用・車両・船舶への搭載作業）使用された場合の故障及び損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買い上げ年月日を証明される物が無い場合、あるいは文字を書き換えられた場合。
- 3.本書は付属品及び消耗品には適用されません。
- 4.本書は日本国内においてのみ適用されます。This warranty is valid only in Japan.
- 5.本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売、譲渡には適用されません。
- 6.この保証書は、本書に明示した条件・期間のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 7.保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。
※修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。また、修理ができない場合もございますので予めご了承ください。

◆お客様相談窓口における個人情報の取り扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知した上で必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に保管して、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供はしません。

本書は販売店名・お買い上げ年月日を証明できるもの（販売店レシートや証明書）が添付されていない場合は無効です。保証期間であっても有料修理となりますので必ずご確認ください。

- 保証期間内に取扱保証書等の注意書きに従って、正常な使用・保管状態で故障した場合には、本書により無償で修理いたします。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品（本体、付属品）と保証書（販売店レシートや証明書を付けたもの）をご持参の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。

品名	RETZLINK オイルレス エアコンプレッサ 静音タイプ RZ-S0724EFR	JAN	4920501510388	お買い上げ 年月日	年	月	日
----	---	-----	---------------	--------------	---	---	---

お客様	ご住所	_____
	お名前	_____様 電話 _____
販売店 販売店レシート 証明書など添付	ご住所	_____
	社名・店舗	_____印
	電話	_____

の欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

株式会社 RETZ

〒959-1156 新潟県三条市福島新田1347-4

お客様お問い合わせ窓口：TEL 0256-45-3701

受付時間 月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00
(土・日・祝祭日・当社指定休日を除く)

●商品の仕様・外観は改良の為、変更することがあります。